

早川よしゆき

市政報告

第54号

代表質問

水曜会では、「コロナ対策」「新年度予算」をはじめ、10項目にわたり、枝廣直幹市長を質しました

新年度予算に対する基本的な考えは

質問

重点政策分217億円として3つの柱を掲げていますが、本市の新たな都市づくりの指針となる「福山みらいビジョン」における位置づけは。

答弁

コロナ禍の影響で困難な時代での2期目のスタートではあるが力強く踏み出す年にするとの思いを込め、「安心と希望のための挑戦予算」としました。安心のための「新型コロナウイルス感染症対策の強化」、希望を感じる「都市魅力の創造」と「人口減少対策の強化」この3つをビジョンの重点項目に位置づけ、その実現に向け全力で取り組んでいきます。

質問

総合的な財源確保や基金活用の考

答弁

新年度の一般財源の総額は約10億円減少しました。

え方は。こうした厳しい財政状況を踏まえ「行政のデジタル化」「既存財源を活用した収入の拡大」、そして「民間活力の活用によるサービスの再構築」の3つの視点を中心に、財源確保策に取り組み、新年度は約18億円の財源を確保しました。

新年度では8年ぶりに財政調整基金から10億円を繰り入れることとしました。また、福山城整備に福山城築城400年記念基金から約4億7300万円を繰り入れるほか、教育環境整備基金や公共施設維持整備基金等一般会計全体では約29億3000万円を活用することとしています。

新型コロナ対策は

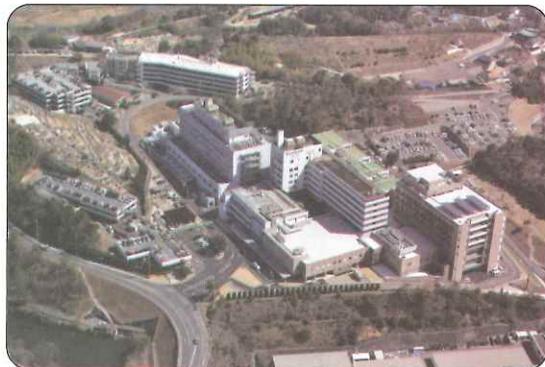
質問

接種の今後の予定、対応状況や課題は。

答弁

1月20日に「新型コロナウイルスイラスワクチン接種対策

医療提供体制の充実について



質問

市民病院における新年度の取り組みは。

答弁

市民病院においては小児科医師の増員を

室」を設置し、準備を進めています。3月中旬からは、医療従事者等への優先接種が始まる予定です。

その後、早ければ4月中旬以降、高齢者への接種がはじまり、順次対象を広げてまいります。しかしながら、現時点でのワクチン確保の見通しが不透明なため、スケジューリングは流動的です。接種方法は、旧体育館と拠点支所を主会場とする集団接種と医療機関での個別接種の併用とします。

福山城築城400年

1619年、水野勝成公が福山藩に入封し、3年の月日を掛けて1622年福山城が完成しました。(1945年8月福山空襲で焼失)



2022年が築城400年になり、現在築城400

年に向けて記念事業を推進しています。夜も美しいお城に親しんでもらうためライトアップの整備、あと築城時北側からの攻撃に耐えうるために施工されていた鉄板張りを復元。また耐震改修工事、鉄筋御門漆喰修理など福山城跡の歴史的価値を適切に保存するとともに、市民の更なる郷土愛の醸成と全国への魅力発信に活用するため、福山城址の整備を行っています。

発行者

福山市議会 水曜会
市議会議員 早川 佳行

住所 福山市加茂町下加茂 1901
電話 (084)972-3195
事務所 福山市加茂町上加茂 265
電話 (084)972-8999
FAX (084)972-2093

早川佳行の 主な役職

67才

福山市議会議員

七期目

民生福祉委員会委員
地方創生調査特別委員会委員
他

図り、昨年10月からは県から小児救急医療拠点病院の指定を受けることとなりました。

また、市民病院では、救急センターにおいて救急母体搬送を受け入れており、今後、本館の建て替えに合わせて、新生児受入体制の整備など、総合周産期母子医療センターの設置に向けた取組を進めていきます。

水曜会

第54号

令和3(2021)年4月発行

発行者 福山市議会 水曜会
 住所 〒720-8501
 福山市東桜町3番5号
 電話 084-928-1123
 F A X 084-920-1104



はらのまち福山

三月定例市議会

本会議は、二月二十二日に開会。令和三年度の一般会計予算案や、令和二年度一般会計補正予算案など、すべての議案を賛成多数で可決しました。

一般会計はコロナ禍の中、過去最大規模の1766億8000万円

市民生活に関連の深い一般会計は、1766億8000万円で、前年度



福山市議会 水曜会

比1.7%増。新年度において、特に戦略的に取り組むべき施策として、「コロナウイルス感染症対策」「都市魅力の創造」「人口減少対策の強化」の3つの柱と、デジタルの推進を重点的に進める予算です。

歳出では、最優先するコロナ対策として、出産育児特別応援金とひとり親家庭特別応援金に計約3億円、検査や医療費の公費負担、後方支援、医療機関への補助などに約2億円、その他には、離職者の緊急雇用対策などです。

令和3年度 当初予算

	前年度比
一般会計	1,766億円余 1.7%
特別会計	928億円余 Δ3.1%
企業会計	651億円余 2.9%
合計	3,346億円余 0.5%

令和2年度 補正予算

一般会計	29億円余
コロナ対策ワクチン接種事業 など	

令和3年度の主な新規事業

○新型コロナウイルス対策	予算額	5億4,824万円
①医療機関などの補助		2億0,674万円
②出産育児特別応援金		1億8,260万円
③ひとり親家庭特別応援金		1億2,510万円
④離職者の緊急雇用		3,380万円
○防災	予算額	59億4,971万円
①手城川流域などの浸水対策		36億7,271万円
②本庁舎の施設整備(浸水対策)		22億6,900万円
③非常用発電機配備(自主防災組織)		800万円
○中心市街地・経済対策	予算額	16億0,070万円
①福山北産業団地第2期工事(継続)		12億1,100万円
②エフピコRiMの改修		2億9,570万円
③福山駅前送迎バス乗降場整備		5,900万円
④福山城公園大型バス駐車場整備		3,050万円
⑤中小企業のITツール導入補助など		450万円
○人口減少、子育て支援対策	予算額	7,873万円
①絵本の国の移転(天満屋福山店)		7,686万円
②育児休業取得促進の事業費補助など		187万円
○文化・観光対策	予算額	7億9,938万円
①福山城の改修や鞆町広場整備など		7億9,938万円
○教育	予算額	8億5,139万円
①市立大学運営費交付金		7億6,000万円
②オンライン学習通信費援助など		9,139万円
○医療・福祉対策	予算額	6億4,303万円
①市民病院本館の建て替えなど		6億4,303万円
○デジタル化の推進	予算額	5,847万円



ウイズコロナ・マスク

都市の魅力づくりではJR福山駅周辺の再生や防災対策が進められます。

福山城の大規模改修に7億6200万円、抜本的な浸水対策として、下水道事業会計を含め36億7200万円です。

人口減少対策では、妊娠から出産、子育てまでを支援する福山版ネウボラに積極的に取り組み、デジタル人材の確保に向

財源不足対応として
 財政調整基金から10
 億円を取り崩す

け奨学金制度を創設しま
 す。

歳入の根幹をなす市税は、新型コロナウイルスの影響などで686億円余となり前年度当初比6.8%減。交付税算入のある有利な市債発行や繰上償還などにより経費を抑制した結果、市債発行額は、15.7%増の180億1100万円です。

また、財政調整基金から10億円を取り崩し財源不足を補っています。その結果、財政調整基金の残高は、168億4000万円を見込んでいます。

一般会計の 賛成討論要旨

令和三年度予算は、安心と希望のための挑戦予算とし、「デジタル化の推進」を基盤に、新型コロナウイルス感染症対策都市魅力の創造、人口減少対策の強化を重点政策とし、約217億円を計上しています。

1日も早く日常に「安心」を取り戻せるよう、積極的な予算執行に努めることを要望し、本予算に賛成しました。

水曜会 代表質問



今岡芳徳議員

水曜会 一般質問



連石武則議員



羽田俊介議員